

令和7年度 第1回中井町総合計画審議会議事録

日時	2025年7月25日(金) 9:30~11:30
出席者	資料参照、欠席：尾上氏、曾我氏、飯田氏、梶田氏、澁谷氏
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会長挨拶 2. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1)将来像について (2)第七次中井町総合計画の人口推計の考え方について (3)第七次中井町総合計画の体系案について 3. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1)第七次中井町総合計画概要版の方向性について (2)第七次中井町総合計画後期基本計画(第二次中井町総合戦略)に掲げる重点プランの進捗状況の報告 4. その他 <ol style="list-style-type: none"> 今後のスケジュールについて
議事	<p>おはようございます。定刻となりましたので、ただいまより第4回中井町総合計画審議会を開催させていただきます。本日はお忙しい中、ご出席をいただきありがとうございます。進行役を勤めさせていただきます企画課篠嶋です。中西委員がご出席でご連絡をいただいておりますが少しご到着が遅れているようですので、またご到着いただけたらと思っております。欠席の方がご連絡いただいた方で5名となっておりますので、出席委員は過半数に達しておりますので、会議は成立していただきますことをご報告させていただきます。また、今回、本審議会委員の交代がございましたので、ご紹介をさせていただきたいと思っております。前任の中井町自治会連合会長の相原隆様から新たに成川保美様が自治会連合会長に就任されましたので本審議会の委員に委嘱させていただくことになりましたので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>また、本日さがみ信用金庫渋沢支店の杉川支店長様が所用で欠席ということで、代理で次長の小堺様にご出席いただいておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>小堺です。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>本日の会議は原則公開となっております。議題、議事の内容、合意事項等を記載した議事概要を後日、町のホームページに公開させていただきますので、予めご承知いただきたいと思います。それでは、開会にあたりまして牧瀬会長よりご挨拶申し上げます。よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>1. 会長挨拶</p> <p>みなさん、おはようございます。よろしくお願いいたします。国政選挙がありまして、だいぶ国はぶれぶれ状態ですけれども、ぶれないものを作っていくと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。私からは以上であります。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。それでは会議に入る前に本日配布させていただきました資料の確認をさせていただきます。一番上の会議次第、一枚おめくりいただきますと名簿、おめく</p>

りいただきますと青い横版の資料 1、総合計画の将来像、人口ビジョン案、基本計画体系案及び概要版の方向性についてという資料、おめくりいただきますと A4 縦の参考資料 1、こちら第七次総合計画前期基本計画の案となります。おめくりいただきますと、参考資料 2 アンケートの周知チラシになります。もう一枚おめくりいただきますと、A4 横版ホチキス止めの第六次総合計画後期基本計画重点プランの進捗状況となります。資料の過不足等はございませんでしょうか。無いようであればこのまま続けさせていただきます。それではこれより協議事項に入りますけれども、これより先の進行につきましては審議会の規定に基づきまして、牧瀬会長にお願いしたいと思っておりますので、会長どうぞよろしく願いいたします。

2. 協議事項

会長

では、ここから私の方で担当します。よろしく願いいたします。まずは議題の 2 の協議事項 (1) 将来像について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局

お手元にお配りさせていただきました資料 1 青い横版の A4 の資料をご覧くださいと思います。1 ページおめくりいただきまして、2 ページ目をご覧くださいと思います。将来像につきましては、本資料の 2 ページから 4 ページにかけてご説明させていただきます。将来像につきましては昨年度実施させていただきました第二回、第三回の審議会の方でご提案させていただいておりました。こちら以下のようなご意見を審議会にいただいております。よく生きる、という意味がなかなか伝わらないのではないかと等々、ご意見をいただきまして、それを踏まえまして、町長含めて町の方で改めて検討させていただきました。その下、3 ページの第三回の審議会でお示した将来像ということで、掲載させていただいております。これらを踏まえまして、1 ページおめくりいただきまして、4 ページ目をご覧くださいと思います。来年度からの第七次総合計画における将来像といたしまして、これまでの議論を踏まえまして、記載の通り、「町民が幸福を実感できるまち なかい」、その下、副題としまして、『里都まちで「よく生きる」』というかたちでご提案をさせていただければと思います。もともと本計画が、町民が幸福を実感できるまちを目指します、ということで、このようにわかりやすいイメージで、記載させていただいております。また、里都まちという言葉ですけれども、現行の第六次総合計画等々で、町の方で、里があるところと都市的な生活ができる町である里都まちということで、町の方で商標登録させていただいて、長年活用してきたものです。それをそのままこちらでも活かさせていただきます。里都まちでよく生きる、ウェルビーイングということで、今回の町の総合計画の肝になります。ウェルビーイングの実現ということで、ウェルビーイング=よく生きるということが言われていますので、里都まちで「よく生きる」、という形とさせていただきました。当然、本計画の方には、こちらの将来像の策定の主旨等々は町民の皆様によりわかりやすくご説明等を記載して掲載させていただくことを考えております。簡単ではございますが、将来像の説明につきましては、以上となります。

会長

はい、ありがとうございます。この審議会でも過去二回審議をしてきまして、町役場においても検討していただいた結果、こちら 4 ページのものでいきたいとのご提案になります。こちらにつきまして、ご意見等ございますか。

委員

はい。聞き逃した部分もあるかもしれませんが、いまレジュメを見ながら確認なのですが、この将来像の文言は 10 年間の指針として、生きるということを基本的に手直しや途中で見直しを行

	<p>われないことを前提としていると思うのですが、決める前に、その確認をさせていただきたい。</p>
事務局	<p>はい。おそらく 10 年間使う将来像ということで、10 年間、この町民が幸福を実感できる町を目指していきます、ということで途中での見直しは原則行わない予定となります。</p>
委員	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
会長	<p>はい、良いでしょうか。 ではこれで進めていきたいと思っておりますけれども、こちら承認事項になりますので、これで決定させていただきたいと思っております。ありがとうございます。 つづきまして、(2) 第七次中井町総合計画の人口推計の考え方について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>では、引き続き資料 1 の 5 ページから 9 ページをご覧くださいと思います。まず 5 ページから説明させていただきます。今回、中井町第七次総合計画の基本計画の中に、地方創生の総合戦略というものを併せて作成するという形でご説明させていただいているところでございます。そのなかで人口推計ということで、人口ビジョンの策定も併せて行うというかたちで、まちとして今後の人口推計をどう考えているか、といったものをご説明させていただければと思います。まず 5 ページにおきましては、国立社会保障・人口問題研究所の人口推計の方法をこちらのほうに記載してございます。基本的には、推計の基本的な考え方といたしまして、5 歳ごとの年齢別階級別人口の推計をコーホート要因法により推計。推計に際しましては、基準人口、将来の生残率、将来の移動率、将来の子ども女性比、将来の 0～4 歳人口の性比から算出している。ベースとなるものが、2020 年 10 月 1 日の国調の人口というものをベースに計算されているといったものを使用させていただいております。1 ページおめくりいただきまして、6 ページをご覧くださいと思います。では今回、直近で出ました社人研の人口推計がどういう推計かといったものを 6 ページにグラフにさせていただいております。まず 2010 年は 10,010 人から始まりまして、2060 年は 4,860 人になるところで社人研の方では人口推計を出してございます。実際に現時点でどうなのかと言いますと、現時点 2024 年で、7 月の人口ですと、いま町の人口につきましては 8,858 人ということで、社人研ですと 8,816 人という数字になっていますけれども、若干現在の人口の方が多いいった形になっています。また、下の 7 ページ目をご覧くださいと思います。こちらが現在の第六次の基本計画におけます人口ビジョンをどういう形で記載しているかといったものを記載してございます。7 ページ目の左側をご覧くださいと思います。まず左側のグラフですけれども、緑色の点線が一つ前の社人研の推計値といったものでございます。2025 年ですと 8,689 人、2060 年ですと 4,346 人というものが前回の社人研の推計値になります。それに対しまして、六次の総合計画では令和 42 年、2060 年に約 6,000 人、5,924 人を目指しますということで現行の六次計画は策定をしております。実際に現行の六次計画の目標値が一番新しい社人研の人口推計と比較するとどのようになっているかというのが右側のグラフで示してございます。オレンジ色が町の第六次の人口推計の目標値になっております。さきほどご説明した通り 2060 年に 6,000 人を目指しますということでございます。ただ、直近の社人研の推計人口では 10 年前の 2050 年で 5,995 人ということで、町の目標と比較しますと、約 10 年間 6,000 人に到達するのが早まるといった形が一番新しい社人研の推計値でございます。</p>

事務局	<p>では、1 ページおめくりいただければと思います。これを踏まえまして、今回の第七次総合計画でどのような形で人口推計を算出するかといったところを、六次の考え方、社人研の変化の見通し、また七次の人口推計の算出条件ということで、段階的に書かせていただいております。まず、出生率というところになりますけれども、六次の総合計画に、当時、2.07 という国の出生率を目標としておりましたが、途中で出生状況を踏まえまして、当時の神奈川県における希望出生率の1.8 を目指すということで下方修正をして、2060 年に 6,000 人という目標値を設定してございます。それに対しまして、社人研の 2024 年の推計につきましては、2025 年の出生率が 0.99 で底打ちと予測をしている中で、2050 年には 1.03 となるなど、2030 年以降は微増となる見通しが中井町の推計人口にも示されているというところなんです。それに対しまして、中井町におきましては全国的な出生率の低下というのが進展しておりまして、中井町も同様に低下の傾向にあるということです。今回、社人研よりも高い水準ではありますが、現在神奈川県の希望出生率は 1.18 ということを示しております。また、神奈川県の人口ビジョンにおきましても、1.18 を目指すということとされておりますので、第七次総合計画におきましても、出生率につきましては神奈川県の希望出生率 1.18 を目指したいということで考えてございます。つづいては、その下、転入・転出になります。まず六次につきましては一層の高齢化の進展が予想されたことから若年層を中心とした転出抑制及び転入増加に取り組むこととして、推計を実施してございます。社人研につきましては、男女ともに 20 代や 40 代などは転出超過が継続するものと数字が見込まれてございます。ただし、町全体としましては、転入超過の見通しであり、最も多い時には年間で約 20 人の転入超過となるということが社人研の推計値の根拠数値となっております。このあたりを踏まえまして、まちでは直近 3 年間に置きましては転入超過の状況であります。平均しますと年間 43.7 人が増加しているというのが直近の数字です。これらを踏まえまして、社人研推計で最も転入が多い期間で年間約 20 人の増が予想されていることから、これらの水準に達するように社人研推計値にプラス 14 人、最大で 34 人、転入増を目指したいといったところでの算出根拠とさせていただきます。その下、人口全体と書いてありますけれども、第六時におきましては、これまでご説明した上記の推定状況を踏まえて 2060 年で 6,000 人という目標値を目指しております。社人研につきましては、先ほどご説明した通り、2060 年に 4,860 人という見通しということで、町としましては、さきほどの出生率、転入・転出を踏まえまして、下のページにありますけれども、数字に表しますと、まちの目標値はオレンジ色の線になります。これらを踏まえまして 2060 年に 5,510 人という数字になります。第七次総合計画としましては、2060 年に 5,510 人という数字を目指するという形でございます。また本計画の第七次計画につきましては 2035 年までの計画ということで、本計画の計画期間ということでは 7,885 人、社人研では 7,712 人という推計になってございますけれども、2035 年には 7,885 人を目指するという形でまちの人口推計を考えているということでございます。(2) は以上でございます。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございました。国の推計でございますと 2035 年に 7,712 人と推定しているんですけれども、今回のプランにおいてはそれよりも上、7,885 人を目指していくと、そのために町としてがんばるということでございます。こちらにつきまして、ご意見、ご質問等ありましたらいただきたいと思っております。どうでしょうか。</p>
委員	<p>はい。</p>
会長	<p>はい、お願いします。</p>

<p>委員</p>	<p>目標値を高くするというのはいいことだと思います。でも目標値を定めることによって、それを実現可能にしていかなきゃいけない責務があると思うんですね。それでちょっとお伺いしたいのですが、8ページにおきまして、2025年には出生率0.99になっているところを、2050年には1.03になりますというかたちのなかで、計算上はそうしていかなければならない部分はあると思うのですが、やっぱりそれを目標値を定めるにおいては、町当局としてはどういうことをすればこの数値があがるのか、考えがあって、このようにしていくというものがありましたらお聞かせいただきたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。町としましては、これまで子育て支援というものの充実を図るということで、各種事業に取り組んでまいりました。現行でも、神奈川県内でもかなり早い段階から小児医療費無償であったりとか、給食費の無償化、等々を進めています。また、出産から子育てまでの期間を長期的にサポートするようなことも実施しております。現行の六次計画においても子育ての分野については力を入れていくといった形で考えております。いま直近の出生率ですと0.9いくつということで1を切ってしまうておりますが、2年くらい前ですと1.13という数字も出てございます。その辺についてはある程度町のこれまでの施策というものが多少は影響があったのかなと考えております。当然、引き続き町としても子育て環境の充実等は実施をしていくべき事業と考えてございますので、希望出生率は1.18ということではございますけれども、近々数年前は1.13という数字を達成できているということも踏まえまして、継続的な事業実施をしながらこのような出生率を目指していきたいということで考えています。また、併せて、転入・転出におきまして、過去3年間、これまでの町の施策が功を奏したのかと思いますけれども、2022年度では49名、2023年度は28名、2024年度では54名という、転入超過になっております。この辺の実績も踏まえまして最大で34人増を目指したいというのはある意味、現実にとらえられる数字と考えております。ですので、これまでに行ってきた施策を引き続き行うとともに当然新たな社会課題等も出てくると思いますので、町としても柔軟な対応をしながら計画を定めて達成していければと考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>本当に町当局の子育て支援とかそういうものにいち早く取り組んでいただいて、きめ細かくしていただいていたと思います。やはり神奈川県が数値を上げるにおいては、中井町もそれに沿うような形で取り組むのは当然のことだと思います。いま言われたように、現状若い人たちが転入していただいているのはとってもありがたいことだなと感じています。魅力をもっともっとPRするのは大事だし、あともう一つ言えることは、やはり結婚したくて結婚できないという人たちが中井町には当初からずっと早く大勢いられたことがあります。そのことについても、結婚は自由でございますので、どうのこうの言うことはないんですけど、したい方にはそれなりの援助というのをもう少し町当局として、してあげるべきことでもいいんじゃないかなという形がありますので、その点もう少しお伺いいただければと思いますので、ご検討いただければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>今後の施策、個別の施策展開の方の参考にさせていただきたいと思います。ありがとうございます。</p>
<p>会長</p>	<p>他にいかがでしょうか。</p>

委員	<p>この数字というのは、基本的には国とか県とかの流れを見て、今の時代の流れを見て、こうやって減ってきているから合わせて中井町もこうだよ、というものなのかなと思うんですけど、それでちょっと今の感じだともうちょっといけそうだなとそういう感じだと思うんですけど、町として今のサービスをこのまま維持するにはとか、今の暮らしやすさを維持するには何人必要だとか、どの規模を維持すればこれは維持できるとかっていうラインというか、その流れに沿ってこうだよってというのはわかるんですけど、ここは最低、これが下がるとこのサービスができなくなるからここは維持したいとか、何人以上キープしたいみたいなその人数はどのあたりになるんでしょうか。</p>
事務局	<p>はい、サービスを維持するために必要な人口というよりも、今後どのくらいの見込みがあるからどのような施策を展開するかというところでの人口のビジョンという形になります。人口ビジョンの考え方なんですけれども、地域の人口の現状を分析して将来の見通し、傾向などを示すというものです。過去の人口の動向ですとか、将来推計を行いながら、日本全体としても人口減少になっていく中で、人口減少の現状を把握して長期的な視点で人口の将来像を描きまして、住民の皆さんと中井町の人口はこういう風な感じになっていくんだよ、という認識を共通のものをお持ちいただいて、その減っていく人口の中で、どのような施策を進めましょうですとか、個別の方でどういう目標を設定しましょうかという風なものになります。ですので、人口を目標的なものは出すんですけども、それがないと行政サービスが維持できないというよりも、人口の流れにあった施策を展開していくという風な考え方で作らせていただいております。人口減少は、一番は、賑わいや人の交流の話が一番大きな話になろうかと思えます。自治体ですので、ある程度基礎的なものは維持というか、ある程度の規模になっても維持していけます。小さい村ですと数百人規模の自治体というのはございます。そこでも独立した自治を営むことができるんですけども、この町域の中で、人口が急激に減ったりしますと、人とかかわりが希薄になってしまうという恐れがあります。そういう面で、そうならないような急激な減少を抑えながら、増やすことも必要だとは思うんですけども、例えば、あまり人口を増やすということよりも、目の前の地域の人たちと腰を据えて生活の質を上げていく、関わりを増やしていくですとか、今回のウェルビーイングもそうなんですけれども、よく生きるということで他者との関わりの中で人は存在するものですから、それを見据えて生活の質の向上に取り組んでいきたいと考えております。ご質問の主旨から少しずれてしまって申し訳ないんですけども、そのような形で定住対策というような形で賑わいが持ち続けられるための規模が必要だとは思うんですけども、それが具体的な数字としてどこまでか、サービスの維持とは違う分野になると思うんですよね。</p>
委員	<p>サービスだけに限らずかなと思うんですけど、このままいったら寂しいよね、というのがやっぱり想像できちゃうじゃないですか。これって流れに沿ってちょっと上を行っていますというように感じじゃなくて、ここをキープしようという目標をみんなに持ってもらうことってすごく大事かなと思うので、町としては本来はどこを目指したいのか、国とかおいておいてどこをキープしたいんだろうというのをアピールしたり、そのくらい攻めないと流れて行っちゃうよねという感じはすごいしちゃうんですけど。寂しいなと思って。</p>
事務局	<p>人口って数字的に見えてしまうので、一番指標化しやすくそれにしつらえちゃうんですけど、人口が多ければという話でもないと思うので、ここにいらっしゃる皆さん中井町にお住まいの方多いと思うんですけども、ということもございますので、目安の人口というのは非常に設定し</p>

	<p>にくいです。住民サービス云々というよりも、賑わいづくりというものです。設定しにくいんですけども、それをきちっと確認しながら行うために今後毎年アンケートなど取りながら住民の幸福度や満足度を図りながら施策を進めていきたいという風な今回の計画の作りになっています。</p>
委員	<p>すみません、何度も。計画的には、基本はこのまま人口が減っていくよねという流れの中で、結果としてみんなの幸せをあげるためにがんばるよという計画に今回していくということですね。</p>
事務局	<p>はい。</p>
委員	<p>日本の人口が減ってもそんなに中井としては何千人の話だと思うので、減ってもここは維持できる町なんじゃないかと思うところではあって、攻めてもいいのかなって。</p>
会長	<p>攻めるとはどのような観点で攻めるんですか。</p>
委員	<p>なんていうか、目標値が流れに沿っているだけで、もっと目標を高く持ってもいいんじゃないかなって感じがします。</p>
委員	<p>いま委員からいただいたご質問ですけれども、町としても現状中井町は出生率は1を割っていると思うんです。その中である程度もっと上を目指していく。あと、さっき説明されていましたが、転入・転出も平均より上を目指していく。基本的には現状よりは上を目指していると。ではどこまで目指すかということになると、これを前回の計画と同じように1.8を目指すと言ってもたぶんそれは現実的な話ではないと思うんですよ。</p>
委員	<p>そうですか。この町だから、小さい町だからこそ国と真逆いけるんじゃないか。</p>
委員	<p>そういう考え方もないわけではないけれども、今までの流れとか、さっき子育て支援の話もあり、いち早く色々な子育てに対する助成もしてきたけれど、それがあって今がある。もちろんこれからも色々な支援をしていくけれど、まずは社人研が言っている数字より、町としてもこのままではなく上を目指す。プラスそれに対して今後も色々な事業を展開していく中でそこをクリアしていったら、それよりも上振れする分には全然いいと思うんですけど、具体的に今の人口を10年後もキープということになると、なかなかどうやって政策としてなにするか。例えば、10年後に現実的かどうかというところも見た中で考えていかないといけません。ある程度、人口推計を見た中で、今後の町の公共施設だとか、いろんな事業だとか、そこは人口を見た中で色々な事業展開をしていくことも大事なかなと思います。たしかにもっと上を目指せという考え方もないわけではないんですけども、ある程度先を見た中で、プラスももちろんしていくけれど、その中で色々な展開を町としても考えていく必要が、人口にあった規模で事業展開していかないといけないかなと思います。</p>
事務局	<p>この推計結果がおおもとの人口見通しとなって、他の個別の計画って町たくさん持っているんですけども、そこのベースとなってしまいうんですよ。例えばインフラ整備だとか、高齢者支援と</p>

	<p>かいろいろなものの算出のベースがここであまりにも高いものになってしまいますと、施策展開していく中で非効率な事業を進める原因にもなりかねません。中井町の人口は以前 1 万人を超え、それからずっと下がっているんですけども、当初は 1 万 2,500 人ですとか、そのような人口を目指して色々なインフラ整備、例えば下水道とかそんなものをですね、その人口分をカバーできるように計画を作ってきたんですけども、そうなりますとちょっと色々差しさわりがありますので、現実的に即した中で日本全体のトレンドを見ながら、減っていくんだけども緩やかにしながら、急に減らないようにしながら、地域の賑わいですとか、委員やっただいていいるようなお茶飲みスペース、カフェスペース、ああいったもので地域の語り合いができると満足度が挙がっていくんだよね、みたいところでですね、そういう認識を共通しながら町づくりを住民の方と一緒に進めていきたいという風なことで、一応この現在の人口の目標を設定させていただいております。</p>
委員	<p>現実は見なきゃいけない、プラスこうなったらいいなみたいな部分も見たいなという感じはします。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p>
会長	<p>他どうでしょうか。</p>
委員	<p>今のお話を伺って、もしかしたら A 案、B 案、C 案みたいな感じで色々な見え方を出すのも一つかなと思いました。ちょっと僕はこの人口の推計というのもある意味一つの KPI、指標の一つでしかないと思うので、増える、減る、というの個人的な主観がすごく出てくるので、僕はどちらかというともっと減っていくんじゃないかと、そういった危機感を持っている。ある意味サイズ感的に先ほど仰っていただいたようなどんな人口規模でも幸せは増えていくとか、よく生きるとかの考え方が大事かなと思いつつ、そこは人口だけでなく見直しというのはどの頻度で行われていくのか、どの規模で行われていくのかっていうのは、僕もまだ総合計画というものがどのくらいの頻度でどんなふうに見直していくのか分からないので教えていただきたいなというのが一つ。個人的な意見としては、この中にも書いてあったんですけど、8 ページの転入・転出のところの中井町の若年層を中心とした転出抑制や転入増加っていうところとかを取り組まれていたりとか、お子様の支援とか、家族層、ファミリー層の支援というのは非常にこれまで成果があった上で今の人口が保たれているというのも一つ成果だとは思いつつ、今後の 3 年ごとに人口とか色々な指標の見直しをしたら、発想の転換みたいな形で他の自治体とかだと高齢者の事務支援とかをされていて、そうすると負担になるんじゃないかとか思いがちなんですけれど、それが例えば福祉とかそういったところで仕事生まれるとか、葬儀とかも行われるので、そういったところで仕事ができるとか。発想の転換で賑わいというものどういうものになるのか、ビジネスになるのか、おくやみとかマイナス面になるかもしれないが、色々な見方をすると、それが地域の糧になるという見方もあると思うので、発想の転換も含めてどの程度で見直しをしていくのか知りたいなと思いました。</p>
事務局	<p>はい。今回の人口推計につきましては、人口ビジョンは前期の基本計画の中で位置づけさせていただき、その中で当面 5 年間はこの目標人口という形で行きます。また、後期の基本計画を定める時にも改めて人口ビジョン、人口推計をその時に現状を踏まえながら検討していくといった形</p>

	<p>になります。基本は途中でよっぽど大きな変化、社会変化等がなければ、この5年間は一応この目標を掲げて事業を進めていくつもりです。</p>
委員	<p>では見直しはこのような形でまた集まって行うのか。</p>
事務局	<p>そうですね。後期の基本計画の策定と併せまして検討するという形になります。実際には3年後、4年後、に2か年かけて基本計画を策定します。ですのでこの計画の実施は令和8年4月からということになりますので、8、9、10年の3年間が終わった時点でその次11年、12年で見直しを図るという形になりますので、実際には3年間どのような人口の伸びがあったかを踏まえながら次期の後期の基本計画の人口を見ていくという形になります。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p>
会長	<p>よろしいですか。他にどうでしょうか。どうぞ。</p>
委員	<p>はい。質問というより意見かなという風に思うんですけども、人口推計において今中井町の現状ですと高齢化率が35%という状況の中で、2025年問題と言われてはいますが、団塊の世代が既に高齢者になったという中で、この10年、20年を考えると、今の出生率の低下とさらなる高齢化が進むということを見ると、10年後の7,885人を達成するというのは自然に考えてかなり厳しい状況であるなという風には感じるんですけど、その中で何が重要かという、子育て支援も人口対策として重要なんですが、高齢者の健康寿命の延伸を図っていくとある程度人口も減らずに抑制できるのかなと強く思います。これは個別計画の方の関係になると思うんですが、今まで通りの支援ですとなかなか歯止めがかからないというのが予測されるんですけど、そこで地域であるとか、事業者であるとか、町がさらに連携して取り組んでいくということが一つ大きなポイントになってくるのかなと思います。意見としてです。</p>
会長	<p>高齢者支援については今後個別で考えていきたいと思います。ありがとうございます。他どうでしょうか。</p>
委員	<p>はい。</p>
会長	<p>お願いします。</p>
委員	<p>転入転出に関して、社人研の推計ですと20代から40代が転出超過が継続するということなのですが、町全体として転入超過の見通しの理由と、どの年齢層が増えていくと捉えていらっしゃるか教えていただきたいです。</p>
会長	<p>事務局お願いします。</p>
事務局	<p>社人研よりも多く見込んでいるのは、過去3年の直近の社会増が中井町は社人研の推計よりも高い数値になっていることも一つになります。かといってこれがそのまま毎年継続されるかというところは確約できるところではございませんけれども、これまでさきほどご説明させていただき</p>

	<p>ましたある程度これまでやってきた各種事業の成果がここ 3 年間で出ているというようなところも希望的ではありますが捉えまして、そこを含めてこの 5 年間につきましては継続して同程度高い水準というのを目指して事業を実施していきたいといった形で考えております。</p>
事務局	<p>補足少しさせていただきます。社人研の推計におきましては中井町では若年層の転出超過が見込まれるという推計値になっておりました。ただ、これまでの対策の結果としても平均的に増えている層とかもおりますので、今回の推計にあたっては、20 代～50 代までの人口層においてそれぞれが平均的に人口が伸びるということで、社人研の推計に対してそれぞれ数人ずつ加算されていくというような推計の方法で行っていますので、全体の層が増えている年代もあれば、トントンになるというか、マイナスだったものがトントングらいになるというような人口層もあるというような年代別の人口の動きを見ながら推計させていただきました。</p>
会長	<p>よろしいですか。</p>
委員	<p>はい、ありがとうございます。</p>
会長	<p>他どうでしょうか。</p>
委員	<p>何年代の人がこれくらい増えたり減ったりしていますとか、全体の数字はあると思うんですけど、町としてイメージとしてこの地域はもう誰もいないよね、この時代になったらこの地域もう住んでないよね、というようなそういうイメージはあるんでしょうか。内訳というか、分布した時に井ノ口の地域に人がいっぱい増えているよね、でもその頃にこの地域は誰も住んでないだろうとか、イメージというか、分布みたいなのってイメージされているものはあるのかなと、聞いてみたいと思うのですが。</p>
事務局	<p>総合計画におきましては、地域別の人口というのは加味していない、集計していないという形になります。逆に、会長も仰いましたけれども、都市マスタープランというものを別に計画を作っております。そこですとエリア毎ってというようなまちづくりの考え方を示していますけれども、今回の第七次の総合計画では地区別の施策というよりは町全体として町民の幸福を上げていくというようなことを目標としていますので、地域ごとでの施策の違いだったりとかは本計画では見ていないので、人口の地域よっての増減についても特段、地域別には集計していません。</p>
委員	<p>この数字は数字でいいと思うんですけど、町としてイメージとしてはあるのかなっていうところは、あります、と考えて良いですか。</p>
事務局	<p>当然、自治会別の人口等は統計書でも出ていますので、それを追っていけばどの地域がということは、増減というのは地域で出てくるかなと、見て取れると思います。ちょっと今手元にデータが無いのであまり適当なことはお話しできませんけれども、数字を追うことはできます。</p>
事務局	<p>たぶん本当の地方のところで本当の山間部とかで無くなってしまいそうな集落とかってイメージがあってお話になっているかもしれないですが、中井町って町域が狭いものですから、20 キロ平米ということで 5 キロ 4 キロぐらいで集落間もそれほど離れていないということもありま</p>

	<p>すので、全体の目で現状では計画では捉えさせていただいているということでご理解いただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>せっかく狭い町なので、幅広く目が行き届いていたら、数字がただの数じゃなくてちゃんとイメージできている数字だとありがたいなと思っています。地域では、もうこの何年かですごく人が減っちゃって、荒れている土地も増えたなというのが実感としてあって、あと 10 年したらどうなっているのかなってすごい考えちゃうので、そういう地域がいっぱいできちゃうのかな、とか、地域ごとというか、全体の数だけ増えればいいんじゃないかなってみんなを見てもらえたらいいなって思います。</p>
<p>委員</p>	<p>本当に皆さんが言われていることは同じ状況で心配ということだと思っんですね。やはりこの数値を見て、本当にこの数値で行けるのかということも不安だし、皆さん心にそういう思いがあるからこういういろんな質問をさせていただいていると思っんですね。それで思っんですけど、今回私たちの役目としては、この人口推計について、将来像こういう風に数値を出したんですけどどうですか、ということだと思っんですね。そこで町当局としては今までやってきたものにさしてこれからやるもの、それをやっていけばこの数字に行く可能性はあると自信を持ってこの数値を出しましたということを受け止めさせていただきたいなと思っんですね。それについては、今まで色々なことをやってきた、それにプラス、いますごく下がってきちゃっているんだけど、何かをプラスしてこういうことをやっていきますということがたぶんおありになるんじゃないかと思っしますので、分かりやすくご説明いただければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>基本計画のなかに色々な取り組みを上げていくような形になります。その中で各課の個別の事業を進めていく形になります。今回の計画にあたって、これが目玉だから人口がこうなるんだよというものではなくて、今までやってきた全体の取り組みを継続して、ブラッシュアップしながら取り組んでいって、この人口規模を維持していきたいというような考え方です。これとこれというよりは、全体観ということで、ご理解いただきたいなと思っます。また、何度もお話を恐縮ですけども、数字にあまりとらわれないという形も、できましたらお願いはしたいところです。増田レポートですとか、消滅可能自治体などショッキングな語感の強いものが出ていて、ある意味ちょっと煽るような形もあるんですけども、それよりも町の基本構想でご承認いただきました、町民が幸福を実感できるまち、これをきちんと進めていきたいというのが一番大きな総合計画になります。人との関わり、ふれあいとか、そういったものを着実に進めていって、皆さんの主観的な指標ではあるんですけども、幸福の満足度を上げていきたいということになっておりますので、ストレートに人口増が幸福感に繋がればそれはそれなんですけれども、意外とそういう相関というのは見られないということもありますので、人口としては一応達成をしていくところで現実的な可能性も見ながら、認識しながら進めていきたいということでご理解いただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>もちろん町当局として色々ご苦労してお考えいただいているのは分かります。でも他の委員が言われたように、現場は本当に当局が思っている以上に本当に色々なことが危機感を感じている。現場にいるものたちはそういうことだと机上論ではなく、現場の状況を把握していただいて、もっともっと危機感を持って総合計画の人口について推移を持っていただきたいということになると思っんですね。私も現場に入っていると、思っている以上に大変な問題が沢山ありますし、</p>

本当に皆さんが幸せに、幸福度を持っているというのは本当に理想なのですけれど、やっぱりギャップがあるからみなさん色々な心配の意見をいただいているということを当局は受け止めていただければありがたいのでよろしくお願いいたします。

会長

こちらの2035年、国の推計だと7,712人ですか。目標人口が7,885人、ということは173人増やしていけばいいわけですね。これは10年間ですので、年あたり17.3人ですので、そんなに大変な数字ではないかなと。いかに一人持って行くか、いかに亡くなる方を減らすかといったかたちがありますので、しっかりやっていけばそんなに大変な数字ではないかなと思います。個別の対策については皆さんから意見をいただいて計画の方に反映していければと思います。先ほど発想の転換とありましたけれども、某市は2,000人くらい増やしたんです。何やったかっていうと刑務所を誘致したんです。刑務所が増えると人口増えますので、受刑者が入ってきますので。そういった発想の転換もあったりするんですけれども、そこに行く前の段階でしっかりやっていくことで確実に人口は維持できるんじゃないかなと思います。某市は年間1,500人増やしていますし、某市は5年間で約1万人増やしましたので、しっかりやっていけば十分可能ではあるかなと個人的には思います。個別は改めて後日またご意見いただいてやっていきたいなと思います。こちらについて他どうでしょうか。こちらよろしいですか。町としてはこちらでやっていきたいとのことですので、場合によっては5年後ですか、見直しがあるということですが、現時点においてはこちらで進めていきたいなと思いますので、よろしくお願いいたします。つづきまして、(3)第七次中井町総合計画の体系案について、こちらにつきまして事務局から説明をお願いいたします。

事務局

はい、では資料の10ページをご覧くださいと思います。まずこちらは基本計画の体系案ということで、前回の昨年度最後の審議会の方ではですね、基本計画の骨子案ということで施策体系、左側にあります方向性の1から6に対しましてどのような分野をその方向性に位置付けるといったところまで基本構想の中でご承認いただいたと思います。今回につきましては各方向性の中でどのような施策を盛り込んでいくのかといったことを示したものをご説明させていただきます。12ページ以降はまた詳細なものになりますので、まず全体像として10ページをご覧くださいと思います。まず方向性の1、よく暮らすに対しましては枝番で1-1から1-3となっていますけれども、里山、環境系の施策、2つ目としましては防犯・交通安全の施策、3つ目としまして、防災施策といったところで方向性の1をまとめさせていただいております。つぎは方向性2として、よく働くということで活力ある地域経済・まちづくりといった中には5本の施策を立てさせていただいております。まず1つ目がインフラ地盤等の生活の基盤づくりといったものの事業の施策になっております。その下2つ目が地域産業の振興を通じた元気で活力あるまちづくりということで、町内の商工業、また観光の振興といったものを位置付ける形になっております。3つ目としましては、安心した暮らしを支える住環境の実現ということでこちらについては町内の生活環境であったり、住環境の向上についてといったかたちになります。4つ目としましては生活環境の基盤となる公共交通の充実ということでこちらでは公共交通の関係の事業、最後、5つ目としましては移住定住というところがございます。3つ目の方向性につきましては、よく学ぶということで、まず1つ目としましては子供の教育の関係、2つ目としましては生涯学習とスポーツ推進、3つ目としましては地域文化の保存と振興といったかたちでございます。4つ目の方向性としまして、こちら3つの施策を立てておりまして、まず1つ目が心身の健康づくりの推進と高齢者福祉の充実という形になっております。2つ目が子育て・子育て支援の充実、

3つ目が医療充実ということで地域医療環境の充実といったところになっております。方向性の5つ目がよい繋がりということになります。こちら4つの施策、まず1つ目が地域の自治機能の充実ということで自治会等々の地域の自治機能の施策。2つ目としましては地域福祉の充実ということで福祉分野、障がい福祉の充実。3つ目としましては多様性を尊重する共生社会の実現ということで、男女協働を踏まえた共生社会の実現といったもので施策を立てております。4つ目としましては交流拠点の維持・整備による地域のつながりということで町における交流拠点等についても位置づけをさせていただいております。6つ目の方向性として、よい行政ということで、行政のDX推進ですね。町の行革であったり行政組織の実現、あとは行財政の適正な管理といった形でございます。こちらの方向性6につきましては以前にご説明させていただきましたとおり、町の行政改革大綱を兼ねるといった形になってございますので、こういったつくりになってございます。実際にイメージということで11ページにございますが、参考資料1、A4ペラ1枚のものをご覧いただければと思います。10ページでご説明させていただきました、方向性1の1-1里山の自然との共生による自然環境の確保、いままだ案ですけれども、こちらが実際の基本計画の中身はこういうイメージで作っていきますといった形のものを参考資料1でお示しさせていただいております。これはいまA4縦になっていますけれども、基本は上のページだけでA4横の見開きという形で紙面構成を考えております。町民の皆様にお見せするのはこういった形で、まず分野として示す方向性というものを実際に記載させていただきまして、その後でどういった施策を行うか、ここの分類では施策1、2という形で描かせていただいております。また、各施策ごとに幸福なまちづくりを進めるために、ということで下のページになりますけれども、町民にやっていただきたいこと、事業者にとっていただきたいこと等を記載させていただきまして、その下がこの施策の目標ということで、Well-Being指標と併せまして施策指標となっていますけれども、町民の皆さんの満足度を毎年測ることでこちらの施策の推進を図っていくといった形で考えてございます。また、この参考資料1につきましてはまだデザイン的なものをしてございませんので、今後そういったものでもうちょっとデザイン化した形にはなります。内容的にはこういった中身で考えているというところでございます。それぞれ様々な分野で分かれているかといったことを12ページ目に記載させていただいております。12ページ以降、この作りにつきましては、実際に町民の皆様こういう形でお見せするというものではなくてですね、町の内部資料として活用するというのもありまして、左側から方向性、政策分野、大分類、施策、どのようなKPIを設置するのか、どのような主な事業をやるのか、といったもの、またどういった関係課がこれを所管するのかといったことを表にまとめてございます。まず12ページ、先ほどさらっとご説明してきましたこちらは方向性1ということで分野としては自然・環境、防犯・防災といったところでの記載でございます。真ん中右側で主な施策というところで事業が書かれておりますけれども、こちらを見ていただくとだいたいなんとなくどういった事業をやるのかというのがイメージが付くかと思います。方向性1の自然環境におきましては、さきほどいった通り自然関係になりますので、山林等保全であったり地下水であったり、有害鳥獣対策、公園の管理であるとか、そういったものが入ってございます。その下、施策として里山環境の保全と地球温暖化対策ということで、地球温暖化対策の方には再エネ普及促進や環境基本計画の推進等ということでの記載でございます。その下、防災・防犯につきましては、こちらでも2つ施策を立てておまして、1-2街並みの整備で安全・快適な暮らし、こちらでは防犯対策、交通安全、不法投棄。また防災の方では消防や防災対策といったものを基本計画の中で位置づけているという形になります。次13ページに方向性2ということで、産業・観光、都市・住宅といったものの方向性でございます。分野としましては基盤整備といったところで右の施策見ていただきます

と、道路整備、河川の維持等、都市計画、地籍調査、農業振興等をこちらの大分類に位置づけさせていただいております。その下が観光等々になりますので、企業誘致であったり商工振興、地域通貨、ふるさと納税、観光事業等をこの方向性の中で位置づけております。1 ページおめくりいただきまして、14 ページをご覧くださいいただければと思います。こちらの方向性 2 ということで 2-3 として都市・住宅ということで生活環境の向上、住環境の向上ということで、ごみ処理だったり公園の維持管理、住宅施策等々が含まれてございます。あと公共交通の充実ということで公共交通の利用促進、移住定住の促進ということで空き家対策や移住定住の推進をここで位置づけております。その下 15 ページ、方向性 3 として教育と生涯学習といったもので、学校教育、学校の維持管理、生涯学習の推進、読書活動等、スポーツ振興、文化財保護等を実施していくといった形になります。1 ページおめくりいただきまして、16 ページです。こちらが方向性 4 ということで、健康・福祉、子育て、医療といったものになっています。健康増進事業であったりとか健康診査、老人福祉、介護予防、保育所、子育て支援、医療になりますと小児医療であったり後期高齢者医療制度、近隣医療機関連携等々を位置づけさせていただいております。その下 17 ページ、方向性 5 こちらでは先ほど言った自治会、自治・連携についてです。自治会活動の支援や地域協働の推進、また、地域福祉ということで民生委員・児童委員の活動支援、集会施設の管理、障がい者施策といったものはこちらになります。多様性のところでは男女共同、多文化共生、人権普及啓発といったものです。最後に、5-4 交流拠点では、いま町で進めております比奈窪 56 プラン、生涯学習施設の建設事業、里都まち交流拠点の運営・管理等々を位置付けております。1 ページおめくりいただきまして、18 ページです。こちらが方向性 6 ということで、先ほどもご説明させていただきしました町の行政改革大綱というものを併せて位置づけをする予定でございます。まず一つ目としましては町民の皆様のご利便性向上のための DX 推進ということで書かない窓口だったりオンライン申請等々の DX 化を進めてまいります。あとこちらでは開かれた町政の推進ということで、議会であったり広報公聴、シティプロモーションもこちらのほうに位置づけをさせていただいております。その下、まちを支える行政組織の実現ということで、こちらは町の内部的なものにはなりますけれども、事務処理の効率化であったりデジタル人材の育成等々、内部的な行政評価含めてこちらの方に位置づけさせていただいております。あとは人事管理等もですね。一番最後、行財政の効率といったものはまちの町有財産だったり、財政の健全化等を図っていくといった内容をこちらのほうに位置づけさせていただいております。本日皆様に審議いただくのは、この体系についてご意見をいただきたいです。各々につきましては先ほどご説明した参考資料 1 としまして、各方向性ごとにページを作るとというのが基本計画になります。次回の総合計画審議会におきましては各方向性がほぼほぼ全部文章を入れた状態で皆様にはお示しさせていただきたいと思っております。本日はその前段階として、この体系案について説明をさせていただきました。ざっとではありますが、説明は以上となります。

会長 はい、ありがとうございます。それでは、まず体系の方向性についてですね、今回はご意見、ご質問いただきたいと思っております。

委員 はい。

会長 はい、どうぞ。

委員 10 ページ目に方向性 1 から 6 ということでご説明があったのですが、21 の施策があるんです

	<p>が、例えば、方向性 1-1、1-3 なんですけど、これは優先順位を指しているのか、ただ並列的に並べているのか、どちらでしょうか。</p>
事務局	<p>はい、単純に並列的に並べているというものになります。優先順位がついているというものではございません。</p>
委員	<p>これは意見ですけども、21 あって漠然としておりますので、これは町民等が目にするものになると思うのですけれども、この中で結局 3 層構造の 2 番目で 5 年後に見直しをしていくということもありますので、もしできましたら重点施策として、例えば、よく暮らすの方向性としては 1-2 をこの 5 年間は重点的に取り組んでいきますとか、そういったものを 5 年後にそれに対しても見直しし、5 年後はこれを重点的に行政が取り組むんだという姿勢が町民にある程度伝わるのが良いのではないかと思いますし、行政の中で話し合いながら、行政の取組をより可視化するにはどうしたらよいかの視点からこういう体系案を作ったほうがより良いのではないかと思います。</p>
会長	<p>コメントですので、優先順位はあったほうが良いかもしれませんが、次回までに検討してもらって、それで委員の意見をもらってもいいかなという感じがしました。あとは町長がマニフェストを持っていますよね。それは優先順位が高いと思うんですよね。被っているものもあると思いますので、それを見ながら順位づけるといいかなと思いますので、検討してもらえればと思います。</p>
事務局	<p>現段階としましては、優先順位というよりは、ここに書かせていただいているものは基本的には町としてはみな重要だと捉えています。参考資料 1 を見ていただきますと、各分野ごと 1-1、1-2、1-3 の単位ごとに町民の満足度を測る指標を掲げてございます。これは毎年町民の皆さんにはこの満足度をお聞きする予定であります。ですので、毎年どの分野において町民の満足度が上がらないのか、下がっているのか、増えているのか、というものは町の方でも把握をさせていただき予定です。ですので、毎年どこに対して町民の皆さんがどう考えているのは把握させていただきながら事業実施、推進していくと考えてございます。現状はそういった形で考えております、ということのご説明になります。</p>
委員	<p>実施計画の中で毎年見直していくということですが、3 層構造の意味合いも含めてより可視化、見える化は、これからの時代、5 年先どのように変化していくのかが私自身すごく推測できないという風に考えておりますので、話し合いの中でそのあたり検討していただくと大変ありがたいと思います。以上です。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p>
会長	<p>はい、どうぞ。</p>
委員	<p>僕も他の委員さんが仰られるようにすごく可視化されるのは重要だなと。あとは職員さんからすると全てが重要というのは気持ちもよく分かるし、いつもそこに関わるのは大変だなと、やる事がどんどんプラスされていく状態なのはすごく大変だろうなというのはお察しするような状</p>

態だなと思うんですけど、その中で一個人からすると、色々な人が重要視するものは違うので、批判とか議論の的になるというのでどこが重点になるかは出たくないというのもすごい分かる部分はあるんですけど、どこが重要視されていて重点A、B、Cとあってその中でも可視化され実際1年から3年のなかでここがどれくらい進捗されたかというのを可視化された中で、またアンケートがあると、ここはやっぱり進んでなかったからこうだったのかなとか、重要視されていたけれど実際ここは既に満足度が高いからここに力入れなくていいかもしれない、もっと他のところに入れたほうが良いかもしれない、というのが本当は重要度と進捗とアンケートというところでサイクルが回っていくということもあるんじゃないかなと思います。そういった意味ではほかの東京23区のある区でも区長が政策として出しているところに、ここは重要視しています、というのがあって1年、2年かはうろ覚えですけども、これはどれくらい進んでいますというのを出して、それに対して色々なご意見はあると思うんですけど、実際にここまでやって透明化されているというのは非常に大事な部分もあるのかなと。町もどこに力を入れていて、町民もどういったところに声を上げていけばいいのか、っていうところも、またそこは一人一人の意見だとただの個人の感想なんですけれど、そこがまとまってコミュニティとして声を上げていくとか、色々なやり方が町民もできることっていうのは広がっていくと思うので、そういった意味では一つの指標もやっぱり現状無いというのも声を上げづらきかけになっているのかな、起因するところなのかなと思いますので、そういったところがあるといいなというのが一つしていくつか出ているというところがいま説明いただいたところへのコメントでございました。

会長 ありがとうございます。他にどうでしょう。

委員 はい。

会長 はい、お願いします。

委員 例えば企業誘致をすれば地域交通のことが解決するとか、農業振興をすれば働く場所が必要になるとか、改善できるかも、というような大分類よりももっと引いた目線で関連してくるものもいっぱいあると思うので、そこをストーリー付けというか、そういったものを今の優先順位の中に取り込めたらいいんじゃないかなと思いました。ペルソナというか、町として想定している中井町が欲しい層はこういう風な理由、条件がそろえばここに来てくれるだろうという、それをもうちょっと具体的にしていって、というのを一例でもいいからあると、より具体的になるのかなと。伝わるし、アンケートの精度のようなものも上がるんじゃないかと思いました。以上です。

会長 はい。他どうでしょうか。

委員 はい。

会長 はい、どうぞ。

委員 コメントです。こういう目標、こういう風に進んでいきますよというのが正直当たり前で、ぼんやりした感じがしてしまうというか、具体性が無い。これはこういうものなんだよ、基本計画っ

ていうのはそういうものなんだよ、と言われたらそうなのかもしれないですけど、町民がこれを見たときに、よしがんばろう、協力しよう、と思うのかなという、ぼんやりして、当たり前のことがずらっと書いてあってそれはそうだよねという感じ。何頑張ればいいの私たち、というのがもっと。町民の幸福度って一緒に参加して盛り上がっていくことも幸せにつながると思うので、もうちょっと巻き込むような感じ、具体的な目標を立てる、これは達成したよというのをはかりやすくする、という今まで言われていたのも、やった、うれしい、ここが足りなかったんだ、もっと頑張ろうと町民を奮起させる具体的な見えるものが、ぼんやりしているなという感じがしました。

会長

町民の協力をいただくことについては後半、概要版を作りますので、そこでまたご意見いただきたいなど。具体的な指標については参考資料の1の下に関連する個別指標がございますので、そこが目安になってくるのかなという気がします。ですので、本当に基本計画はこういう漠としたもの、方向性を示すものになっておりますので、具体的なものについては各分野において、示される、そういう流れかなという感じがします。そういう感じで進めていきます。たしかに町民参加は重要ですので、後ほどまた概要版の方でご意見いただければと思います。他どうでしょうか。まだご発言されていない他の委員の方は、いかがでしょうか。感想でも構いませんけれども。

委員

冒頭に戻ってしまうのですが、他の委員が先ほど仰っていたように数値は数値としてももちろん、感情論ではないのであくまで数値ですという、推移はすごく理解できました。ただ、この町だからこそできる何か、自分としても施策は無いですが、あっと驚くような、こんなことやっているんだねという魅力があるようなようなものが本当にあったならば話していてもわくわくしたりとか、町民がわくわくして参加できるようなものはないかなと思っているんですけど。近隣町に勤めていると、わっと大きな目玉というか、民家を中心に祭りがあるとすごく人が来るのですごくびっくりするんです。それと対比するわけではないですが、そこはそこ、だけれど中井町でも何かできないかなと常に思っていて、こんないい町なのに、もっとこの町だからこそで切ることってないかなといつも思っています。なので、結果数字がついてくるというのは色々あるので、何か皆さんが楽しんでくれるようなものが一つ打ち出せたらいいなど、総合計画に関わらせていただいて感じています。以上です。

会長

ぜひご参加いただけるような具体的な事業をいただけるとありがたいと思います。皆さんですけれどね。

委員

そうそう、事業がね。何かね。

会長

注目の事業が欲しいですね。今は常に平坦に見えてしまっているのです。中井町はこれだというようなものが欲しいんだろうなと思っていますし、この中で議論していけると思いますので、次回以降ですね、自分から事業を提案いただいて、場合によっては予算付けてもらいながら進めていくというのが良いかなという感じがします。

委員

ここでそういう議論はできるってということですか。

会長	<p>していいと思いますけれどね。これは審議会ですので、一応そちらでまとめてもらって、やるやらないはご判断になりますけれども、事業の提案はいいかなという感じがしますね。ただ次回以降またしっかり議論していければと思います。今は大まかな方向性のお話ですので。他のご発言していない委員はいかがでしょうか。感想でもご質問でも。</p>
委員	<p>はい。体系案について聞いていて、防犯から事業が網羅されていますけれども、逆にこれだけしっかりやらなければいけないんだなという感じがします。予算も限られていますので、メリハリが必要ではないかなと思います。町民で希望度が高いのは公共交通機関ですね。ただ税金がないということがありますよね。それに対して、生涯学習センターやっていますけれど、メリハリをつけて推進していくべきではないかなと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。先ほどの委員からもありましたけれども、優先順位をつけるという話な感じがしますね。それと交通というところも相談しながら検討していきたいなと思います。他にどうでしょうか。大まかな方向性はこれでよろしいでしょうか。では、こちらで終わりで次回以降中身を議論したいと思います。ありがとうございます。つづいて3.報告事項です。</p>
委員	<p>すみません。報告事項の前に協議事項ですので、ちょっと最初の将来像について割と簡単に行ってしまったので、この中で共有という意味で、時間かかって大変申し訳ないですけれども。やはり先ほど委員の切実な思いであったりとか、見直しの話がありましたが、将来像はやっぱりそこに基本構想の将来像の位置づけというものがあると思うんですけど、自分自身そうなんです。あまりにも時代の変化が近年すごいんですね。結局中井町の町民にとって将来像を示したときに、マッチしていればすごくいいんですけども、実際に数年後に将来像の内容がずれてきてしまって、みんなこんな5年続けるのかと、すごい一生懸命考えたけれどもずれたときに目標の設定というのが今までは見通しに基づく目標設定だと思いますけれど、これからは見直しを加えた目標設定をしていかないと。やはりどこかで一回修正する、どこかで一回見直したほうが良いと。そうした時に町民も後の5年、一回反省してみて、将来像が生活に密着しているのかなと話し合いするだけでもすごく価値があると思います。そういった中で、5年後くらいにアンケートを取って、この方向性であと5年いけるか、町の行政から示して、町民が受け止めて振り返る、そこで一つのお皿の中に町民も行政も全部乗ることができて、またそこで考えることによって、また違った将来像が、こういうふうにしていきたいと思います。この5年間こんなに変化があったんだから、この将来像どうなんですか、ということがあると思うので、ある程度将来像の5年後のチェック機能を働かせるというか、ある意味マイナーチェンジしていく、ベースはあるんだけどマイナーチェンジしていかないとこの将来像の達成は難しいんじゃないかということが見え隠れして、ある程度現実化した時には行政が思い切ってそれを変えていくような形にしていかないと、これからの生活、子供たちに影響がすごく大きいと思いますので、そんな意見もあるということを理解いただきたいです。</p>
会長	<p>ありがとうございます。コメントということで。ちなみに5年後アンケートとすることは可能なんですよ。</p>
事務局	<p>それは全然。はい。</p>

<p>会長</p>	<p>場合によってはアンケートとってもらって、変更というのはあれですけど、アンケートとるということは可能かなと思えました。ありがとうございます。では3.報告事項に行きたいと思えます。</p> <p>3. 報告事項</p>
<p>会長</p>	<p>(1) 第七次中井町総合計画概要版の方向性について、こちらにつきまして事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>すみません。まず概要版の前にですね、19 ページをご覧くださいと思います。指標モニタリングアンケート案ということで19 ページに記載させていただいてございます。本日参考資料2ということでピラの原稿を載せさせていただいております。一応こちらにつきましては先ほどお話しした各分野ごとに町民の皆さんの満足度を測っていくという話を先ほどさせていただきました。その基礎数値となるものを測るために、来月の1日からアンケートの実施を予定ということで考えてございます。町内にお住まいの方、在勤の方、中学生以上の方を対象としてWEBアンケートを実施させていただくといった内容でございます。1ページおめくりいただきますと、どのようなものを聞くのかといったことを次の2ページにわたって記載がございます。上段のページにつきましては属性等々になりまして、下段のページが聞く内容となっております。実際にこういったものを毎年行っていくことで、町民の皆さんの満足度を測りながら事業展開、事業形成、政策形成に活かしていくと考えておりますので、よろしくをお願いいたします。</p> <p>では、次第の内容に戻りまして、概要版の方向性ということで22ページからご覧いただければと思います。今回の総合計画につきましては、幅広く町民の方に周知させていただいてご理解いただきたいということで、概要版の方を作成させていただきます。本日はまず皆様に事務局で考えてございます概要版をどのような形で作りたいかといったものをご説明させていただきます。まず22ページにございますが、今のところ概要版につきましては全8ページで構成することを考えております。表紙、2ページ目3ページ目では基本構想に入っています、今日ご意見いただきました将来像・方向性を含む総合計画が目指す大きな町のイメージといったものを考えております。4ページ目5ページ目については町民の皆さんに行わせていただきますアンケート結果や人口の話、世の中の課題に関する認識等を記載させていただきます。そのあと6ページ目7ページ目では体系案でご説明させていただきました6つの方向性について町民の皆さんに分かりやすいような内容で記載させていただきたいと考えております。今回概要版につきましては、中学生以上の方はわかるような内容で、どんな方でも分かりやすいような内容で作成をしたいと考えております。下の23ページをご覧くださいと思います。イメージといったところで、今回概要版、本紙もそうなんですけれども、計画の顔として、表紙については親しみやすく印象をつけたいといったところで写真等は使わないでイラストを活用した中で町民の皆さんに手に取っていただきやすいようにしたいといったところで考えております。1ページおめくりいただければと思います。24ページにつきましては、2ページ目3ページ目で表します将来像であったり方向性含めて町が目指すイメージといったものを見開きで掲載していきたいと考えております。こちらにつきましては他自治体の例になりますのでこのようになりますというわけではありませんけれども、町民の皆さんに分かりやすいような、比較的明るいトーンで見やすいものを作成したいと考えてございます。その下のページ25ページ目につきましては、4ページ目5ページ目の町民の皆さんからいただいたアンケート結果や世の中の課題感といったものを整理させてい</p>

ただければと思っております。ここについては細かいアンケート結果というよりは、今回取らせていただきます町民の皆さんの今の皆さんの生活の満足度であったり、わかりやすい視点で町民の皆さんにはご紹介させていただければと考えております。次のページおめくりいただきまして26ページですね。こちらは6つの方向性についてといったものをこの2ページでまとめさせていただければと思います。こちらではなかなか町の事業すべて記載するといったことはできませんので、各方向性ごとに町がどのようなものに取り組んでいくのかといったことを分かりやすい言葉、イラストを使って町民の皆さんにお伝えしたいと考えてございます。最後、裏表紙という形になりますけれども、町としては本紙以外にも概要版を作成させていただきまして全戸配布できればと考えてございます。いま町が見ています方向性はイラストで、少し明るめのトーンで中学生以上の方が分かりやすいような内容で町として作りたいということで考えております、といったところでご報告ということでご説明させていただきました。概要版につきましては以上になります。

会長 ありがとうございます。町民の方が手に取ってもらえるようなもの、かつ読んでもらうためにはどうしたらいいか踏まえてまたご意見等いただければと思います。どうでしょうか。

委員 ずれてしまうかもしれませんが、6月から7月にかけてワークショップを小学校中学校で実施いたしました。学校の未来予想図を描いて、今いるお子さんと語ろうと。全部で1,175の要望が出ました。そういった中に、色々ジャンルはあるんですけども、意外に小学生も中学生も中井町のことに関して50%くらいの子が関わりを持って色々なことを考えているというのが実際出ていますので、いま事務局の説明で中学生という言葉があったと思うんですけども、できるだけ見たときに自分で読めて、こうなんだねと。お母さんどうなの、と会話ができるような形で、ルビを振るとか、工夫していただきたいと思います。

会長 ありがとうございます。他どうでしょうか。

委員 ざっくりですけども、今の子どもたちはどうしてもゲームから離れられない世代なので、ゲーム感覚で楽しめるものがアプリなり何なりあったらうれしいです。それが考えなきゃとかではなくて、知ろうと思うようなアプリみたいなのがあってゲームでできたらもうちょっと参加していきたいなとなるかなと。子供たちが大きくなるころにも中井町は存続していてほしいと思っていますし、よくなってほしいなと思っていますので、その世代もうまく取り込めるゲームみたいなものもあったらいいなと私は思います。

会長 はい。ありがとうございます。

委員 委員の仰る通り、デジタル版のアプリみたいな形なのか、例えば子供たちだけの意見でなく町の人たちの意見ってみんなあるので、子供たちの意見を聞くってパッとすぐ出たんですけども、それだけだとまた違うなと思って。その中でアプリとか双方向で意見が出し合えたりとか、それが見られるような形になる方が、一方的に伝える、押し付けるような形にならずに双方向で議論できるようなベースになるようなアプリとかデジタルのものがあると違った広がり、議論、会話のきっかけになるようなツールになると良いかなと思いました。

委員	色々な発想が出ると良いなとは思っています。
会長	中井町は中井町の公式アプリなんかはあったりするんですか。
事務局	公式アプリというものは無いですが、LINE、インスタ、X 等々 SNS 関係は町の公式は持っています。
事務局	イメージとしてはグループラインみたいな感じで自由にみんなで話したり、そういった感じですか。
竹内委員	そこまで行くとお名前とかもあるので、アプリの中で匿名で、町民で登録した時に意見を交わしたり情報を蓄えられるようなものがあると、ホームページだけではなくて。
事務局	コミュニティの場を、という感じですか。
委員	そうですね。小さなコミュニティを作れるみたいなこととか、グループアプリみたいなものとか作ろうと思うと少し資金はかかりますけれど、そんなにすごい難しいものでなければ、掲示板みたいなものとかそんなにお金はかからないと思うので、そういったものはもしかしたら一つかもしれないなと思います。
委員	神奈川県が出している教育メタバースというアプリができた。神奈川県がデジタルを使ってそういう子たちのコミュニケーションをとるように、やり始めたのだなというのがあるので。今の時代に合わせた、県もそういう事業があるので、中井町で何かあったらいいなとは思っています。
会長	ここでの議論とは別に議論していくべきかなと、総務省の一環としてたくさんありますので。大手町もやっていますので。
委員	情報を取りにいけていない、やっているのに情報を取れていない。
会長	ちょっと前ですと DX の補助金使いましたので、場合によってはまだ使えるかもしれませんので、市民同士の交流も始まっていますので。相模原市もファンサイトを作って色々やっていますので。検討してもいいかなと思います。他にどうでしょうか。
委員	平塚市はたしか総合計画を中学校に行政職員が行って出前授業と言ってまちづくり事業ということにして、内容は総合計画の解説をやっていた気がしたということをお共有しておきます。以上です。
委員	平塚市は出前授業やっていましたね。
委員	中井町も、大変だと思うんですけど、できたらダイレクトにできるし、その場で議論があれば、大人の目もある中で安全に議論してもらえるとという意味では効率が実はいいかも思います。

会長	そうですね。総合学習の時間に話してもらったりとか、そういうのはありますね。中井町は小学校中学校はいくつあるんですか。
事務局	小学校は2つに、中学校は1つです。
会長	そうしたらそんなに大変ではないですね。3校ですので。行っても構いませんので。ぜひ連携してもらえればと思います。はい、どうでしょうか。
委員	はい。
会長	どうぞ。
委員	子供たちにも、誰でも見てもらえたらというには、やはり具体的な目標が分かりやすく載っていてほしいというのがあって、その具体的な目標がどれだけ1年間で達成できたのかとか。本当に子供でもテレビで見てCO2があれで温暖化で、というのを見たときに学校じゃあ歩いていこうかなと言ったりするんですよ。これでちょっと役に立っているかもとか、目標達成になるのか本か。交通事故0人ですとか、ああいうのを見るとじゃあ今日も安全に過ごそうとか、そういう単純な、1年間でこれだけ頑張れたよねという具体的な目標を出してくれると、向かう方向性がやっぱりほしいなと思っていて。そういうのって子供でもじゃあ参加しようとか分かりやすいんじゃないかなという風には思います。
会長	それはホームページにもあると良いですよ。
委員	ここでも一つ分かりやすく、幸せを感じるまちだとボヤっとしてしまうので、そのためにこれをやりますみたいなのはやっぱり一つ柱が立ってくると、みんな、じゃあってなるのかなと。
会長	概要の4ページとか5ページくらいのところに、ここに人口目標とか具体的な目標。同時にホームページの中にもあると良いかなと私も思いましたので。
委員	達成感みたいなものが見られる場所、ここに飛ぶと今の現状見られますよ、とかがあったりする面白いのかなと思います。
会長	そうですね。概要版見てもらって、リンク飛んで見ていけばホームページに飛んでいくと良いかなという気がします。それはいいと思います。そんなに難しくありませんので、ぜひやってもらえると良いかなと思います。はい、どうでしょうか。
委員	はい。
会長	どうぞ。
委員	町としては総合計画はあるものすべてちゃんとやっていかなければならないということがあるからこういう形になっていると思うのです。それはそれでとても大事だと思うのですが、

本当に町民との差をなくすためにはどうすればいいかというのを考えるべき時が来たのかなと。皆さん方の意識も高くなってきていますし、疑問を持つようになってきましたし、情報はいっぱいあるので、それを行ってしまう部分がありますので、そこは行政がしっかり数字を立てなければいけないんですけど、行政も怖がらないで新しいやり方を取り組んでいくのがいいんじゃないかなと。やはり町民側としては沢山やったださっているけれどそれが大きすぎてぼやっとして何やっているか分からないということが多分言われていると思うんですね。その中で今年度は町としては町民の皆さんと一緒にこれをやろうというのを前面に出して、怖がらないでちゃんと持っているのは持っていれば安心ですし、それを怖がらないでやっていこうということでみんなに呼びかける。たまには町民も年齢層がちがいますので、やっぱり若い方とちょっと格差がありますので、今年度は若い子、来年は中高年、という形のなかでイメージあるところに飛び込んでいく。それで町はこんなことやっているのかというものを、もう少し怖がらないでやっていくことも大事じゃないかなって。ちょっと時代の流れを追って昔と同じような総合計画を出すというのも大事かもしれないけれど、現実的にはそういうことで一緒に飛び込んでやろう、今年はこれやるよ、と皆さんが奮い立つようなものを怖がらないでやっていく必要がある、そういう局面になっているんじゃないかと思います。

会長 激励ということで受け止めて検討してほしい。ちょっと戻ってしまいますけれども、さっき小学校は2校、中学校は1校とありましたけども、場合によってはうちのゼミと一緒に私が行ってもいいかなという気がしますね。うちのゼミ生、若い人がいると良いと思いますので、去年うちのゼミも関わっていますので、小学生、中学生と意見交換するというのもありかなと思いますので、前向きに検討してもらえたらと思います。飛び込んでいきますので。失敗したら町長・副町長に責任取ってもらってまいりますので。はい、どうでしょうか。こちら内容については今後も議論できるわけですよ。

委員 またありますので、分かりやすく手に取ってもらえるように今まで通りのやり方ではなくて、こういったイラストとか使った中で読んでいただけるような方向性で検討していきたいなど。またお見せしますので。

委員 いつできるんですか。

会長 全部決まってからですよ。

委員 一応目標期日というか、このくらいにチラシを出すとかあたりされますか。

事務局 概要版含めてですけれども、また後のスケジュールでご説明しようかと思っておりました。最終ページご覧いただければと思います。資料1の最終ページですね。2025年度のスケジュールというところがございます。実際に今皆様にご審議いただいております総合計画自体につきましては、今のところ予定ですけれども、右側にパブコメ実施とありますけれども、10月17日くらいにはパブコメを実施したいと考えております。ですので、これまでは計画案が完成している、基本的には完成しているという形になります。とは言いながら、ここで町民の皆様のご意見をいただいて修正等あれば修正して、最終的には12月の議会の承認事項になりますので、総合計画は。12月議会で承認いただいて最終的に決定といった形になります。実際に冊子というか、町

	<p>民の皆様には正式なものをご覧いただけるのは来年度の4月になりますけれども、今のところ内容的にはほぼ概ね決定しなければいけないのは10月の中旬くらいまでには決定していくといった形で、次回10月2日という日程で審議会を開催させていただきたいと思っております。ですので、一か月程度前にはなりますけれども、また皆様にはご出席依頼はさせていただきますが、もしよろしければ10月2日の日程を空けておいていただければ大変助かるなと思います。ですので、町民の皆様にお見せするのはそんなスケジュールで考えております。</p>
会長	<p>2か月くらいありますので、次回もう一回中身について議論できたらと思いますのでよろしくお願いいたします。次回の宿題になりますので、ちょっと考えておいてもらえたらと思います。どうぞ。</p>
委員	<p>10月の時にまだ間に合うよということですか。</p>
会長	<p>間に合うと思います。</p>
委員	<p>具体的な目標これがいいんじゃないか、あれがいいんじゃないかとか。</p>
会長	<p>一応人口のところは今日決まりましたけれども、その中身はまだ間に合いますので。</p>
委員	<p>食料自給率を上げようとか、そういう具体的な話とかも。</p>
会長	<p>それは個別の話になってくると思いますので。個別計画かなという感じがしますが、場合によっては次回以降話してもらえると良いかなという感じがします。あと概要版については次回以降議論になりますので、宿題になりますので、考えておいてもらえたらと思います。ちょっと時間も近づいていますので、(1)第六次中井町総合計画後期基本計画に掲げる重点プランの進捗状況の報告について、事務局からお願いいたします。</p>
事務局	<p>はい。ではお手元にお配りいたしました横のホチキス止めの資料2をご覧いただければと思います。毎年ご報告をさせていただいてございますが、第六次総合計画の中で重点プランの1から3ということで指標を設けております。その進捗状況のご報告といった形になります。表の見方から行きますと、一番左側から指標の名称になってございます。その右側が令和5年度の実績値、その右側が昨年度の令和6年度の実績値となっております。その右側が目標値ということで、後期基本計画を策定した時の目標値の数値とその根拠という形で右側は入っております。ですので、1ページ目からご説明しますと、今の六次の関係人口については、1年間で350人を目指しているといった形で、昨年度については192人が関係人口としてカウントさせていただいた結果という形でございます。また転入者数につきましては第六次の後期を作成した時は年間380人といったところですが、昨年につきましては318人が転入されたといった結果でございます。その下はですね、新規就農者、これは累計になりますけれども、全部で16戸の方が新規就農されていると。その下、交流人口ということで、その右側に入っているものは町のイベントや施設を使われた方の総人口ということで目標200,000人に対しまして158,804人といった形でございます。その下、町のブランド品の売上であったりとか官民連携の連携数等々が記載されてございます。1ページおめくりいただきまして、重点プラン2快適という部分につきまし</p>

	<p>ては、基本目標としましては平均寿命、出生数といった形で位置づけしております。その他個別目標としては、里山を活かした取り組みであったり、ごみの排出量、子育て支援センターの利用数、総合スポーツクラブの数、交通満足度等を指標として掲げております。各々の達成がこちらの数字になってございます。3ページがですね、重点プラン3のものになります。こちらでは基本目標としまして新たな地域活動の実施数、また転出の抑制数、転出数で、個別目標としては未病センターの利用者数、サロン活動数等々、安心安全メールの登録件数、新たな外国語対応の取組数といった形で個別目標を設定しているといった形で、昨年度どういった実績だったのかを取りまとめしたものがこちらの資料になります。またですね、字が小さくて恐縮なんですけれども、結果ということになりますので、またお持ち帰りになって詳細をご覧いただければと思います。報告は以上になります。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。それでは時間も迫っていますので、どなたか全体を通じてコメントございますか。ではよろしいですか。先ほど説明有りましたけれども、また改めて次回もう一度説明していただいて、そして終わりにしようかなと思いますので改めてご参加ください。では4、その他はもういいのか。では一旦お戻しします。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい、ありがとうございます。それでは長時間にわたりましてご審議ありがとうございました。次回の会につきましては先ほどお話ありました通り、10月2日午前10時からということでご予定いただければと思います。また改めてご依頼の通知は発出させていただきますので、よろしく願いいたします。本日皆様から頂いた意見等を踏まえまして計画の策定を進めてまいりますので、またよろしく願いいたします。それでは、これもちまして、本日の総合計画審議会を閉会いたします。どうもありがとうございました。</p>